

東京ベイヒルトンインターナショナル労働組合は 1988 年に結成され、来年の 2013 年に 25 周年を迎えます。東京ディズニーランドのオフィシャルホテルということもあり、都市型ホテルとは若干違った雰囲気があります。その雰囲気は労働組合のカラーにも浸透しており（どちらかといえば組合員のカラーがホテルを彩っているかも）非常に明るく、仲の良い仲間が集まっています。

所在地の舞浜は千葉県浦安市で、東日本大震災の時には液状化により大きな被害を受けました。ディズニーリゾートも 1 ヶ月以上休園となり、このエリアから人影がなくなっていました。稼働が 5%にも及ばない日々が続きましたが、ヒルトン東京ベイだけは営業を続け、組合員も希望を失わず、互いを元気づけながら乗り越えてきました。現在は震災以前に戻りつつありますが、理想とするレベルまでには至っていません。ディズニーリゾートの来園者数は 2012 年度上半期、前年比 23.4%増の 1,325 万人となり、過去最高となりました。来年はディズニーリゾート 30 周年を控え、ヒルトン東京ベイも盛り上がっていくつもりです！

さて、本来の主旨である労働組合についてですが、一言でいえば「とにかく明るい！」です。委員長を筆頭に常に笑いの絶えない役員で構成されています。「こんな人達で大丈夫？」と思われるかもしれませんが、組合員は信頼し、信用してくれています。それはスイッチのオン・オフを使い分けているからだと思っています。いつも考え事ばかりで難しい顔をしていたら誰も近くに寄って来てくれませんから。おちゃらけていても、やるべき時はガッツリやります。その姿を組合員は見てくれているのだと思います。それがオープンショップで組織率 80%を維持し、さらに上げていこうと今も執行部は日々大きな声で笑い続けています。

